

経営比較分析表（令和2年度決算）

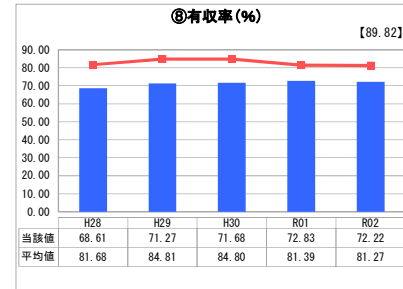
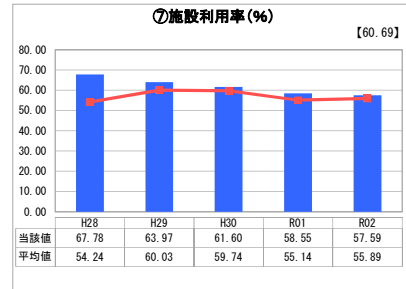
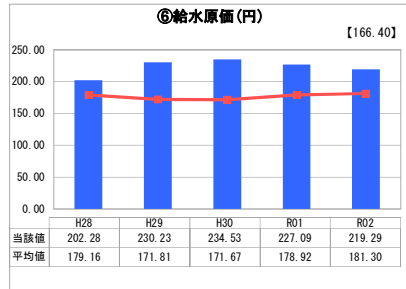
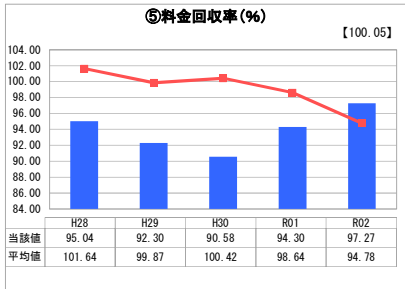
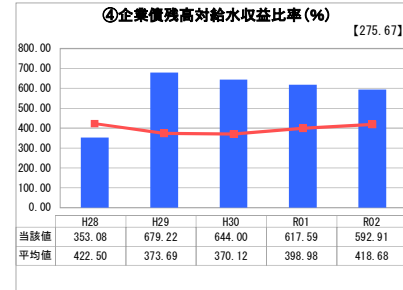
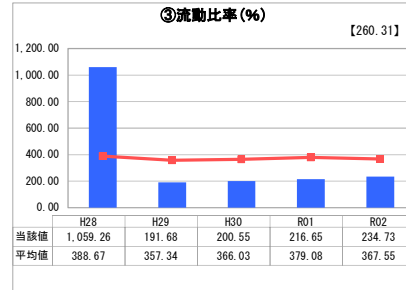
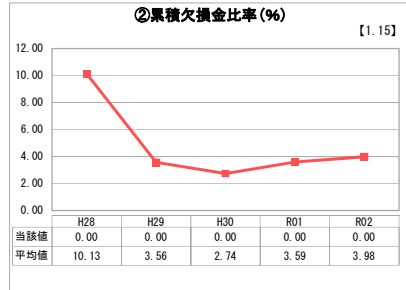
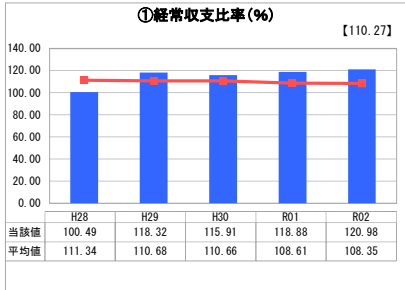
長崎県 対馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	65.79	99.91	4,230	

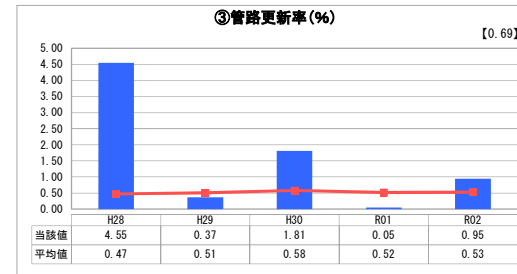
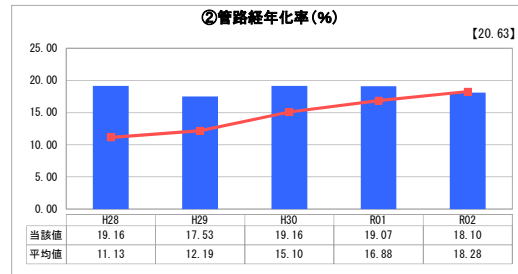
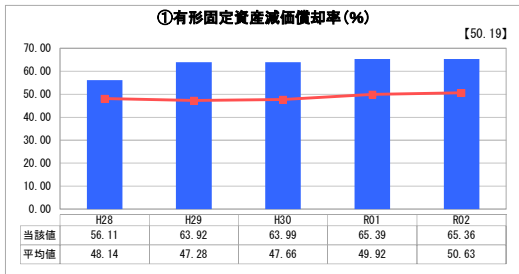
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,663	707.42	41.93
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
29,243	58.57	499.28

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は平均値及び100%を上回っており、経営状況は比較的健全な水準である。
- ②流動比率は平均値を下回っているものの200%程度を維持しており、短期的な支払能力は確保できている。
- ③企業債残高対給水収益比率は、平成29年度から簡易水道事業特別会計と経営統合したことにより、類似団体平均値よりも大幅に上回っているが、年々遞減しており、今後も健全経営に向け企業債残高削減に取り組んでいく。
- ④料金回収率は徐々に改善の傾向にあるが、いまだ100%を下回っている状況であり、更なる経費の削減を検討する必要がある。
- ⑤給水原価は改善の傾向にあるが、類似団体平均値を大幅に上回っており、更なるコスト改善が必要である。
- ⑥施設利用率は平均値を上回る稼働率になっているが、有収率は類似団体平均値よりも低い70%台であることから、漏水等の要因により配水量が増加したため稼働率が高くなっている可能性がある。
- ⑦有収率については平均値を大きく下回っており、収益につながっていない状況である。管路の老朽化による漏水等への速やかな対応を行うなど有収率の向上に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率及び管路経年経過率について、ともに高い水準となっている。
- 全体的に施設の老朽化が進んでおり、長期的視点に立てて年次的に施設の更新を進めていく必要がある。

全体総括

対馬市水道事業においては、人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による観光関連産業及び節水型社会の定着による水需要の減少により収益の悪化が著しい。

一方で施設の老朽化や、多様化する市民ニーズに応じた良質なサービスの提供、事業経営をめぐる内外の動きなど事業をとりまく課題が山積みとなっている。

特に施設の老朽化については、限られた財源のなかでこれらの課題に対応していくために、施設規模の見直しなども含め計画的・効率的な水道施設の改築・更新や維持管理・運営、更新積立金等の資金確保方策を進める必要がある。